

今後の大学連携のあり方について

1 今、なぜ大学連携なのか

(1) 大学への期待と大学連携の必要性

○大学全入時代が到来する中で、大学には、国際化・情報化等の進展に対応する人材育成、地域社会・産業への貢献等が求められている。各大学の個性・特色を伸ばすとともに、その資源の有効活用を図るため大学連携を強化することが必要

○地域社会や産業界は大学における人材育成に期待

- ・グローバル人材、新たな成長分野を担う人材の育成
- ・大学生の論理的思考力等の育成
- ・企業における人材育成上の課題への対応

○地域の大学群が、産業界や公的セクターとともに教育プログラムを整備し、幅広い年齢層に学修の機会を提供

(2) 広島県における大学連携の必要性

○広島県では大学入学時及び卒業時の二度にわたる転出超過の状況にあり、人材の流出に歯止めをかけることが必要

○地元入学率は徐々に上昇してきており、54.6%(全国8位)となっているが、転出超過の解消を図るために、地元入学率を更に高めるとともに、他県からの入学者を増やすことが必要

<大学入学時及び卒業時の転出入の状況>

・大学入学時の県外転出超過 (H22)

県内高校生の大学入学者数【A】	県内大学への入学者数【B】	転出超過【A-B】
16,402人	14,559人	1,843人

資料：学校基本調査

・大学入学時の純転入率及び地元入学率の推移

	H12	H17	H22
純転入率	▲16.3%	▲14.2%	▲11.2%
地元入学率	49.1%	49.9%	54.6%

※純転入率：純転入者（転入者－転出者）が、地元の高校を卒業して大学に入学したものに占める割合

※地元入学率：地元の高校を卒業して地元の大学に入学した者が、地元の高校を卒業して大学に入学した者に占める割合

資料：学校基本調査

・20～24歳層の県外転出超過数 (H22)

全体	うち就職を理由とする者
1,786人	1,361人

資料：広島県人口動態統計調査報告

2 大学連携の現状と課題

【大学コンソーシアムの取組】

○他大学の授業を履修できる単位互換事業等 (<>内は連携大学数)

区分	広島県<17>	京都府<34>	石川県<13>
産業界との連携	—	・企業トップ等による講座 ・インターンシップ事業等	県内企業のトップが学生と対話する講座の実施等
共用サテライトキャンパス	—	京都駅前立地	金沢市中心部に立地
単位互換提供科目 (うちeラーニング科目)	236 (1)	531 (13)	90 (5)

※eラーニング：時間や場所に関係なく、インターネットなどを介して、必要な知識や技術を習得するための手法・方法

(本県の課題)・産業界との連携が薄い。

・利便性の良い場所に共用サテライトキャンパスがなく、大学が点在しており移動に時間がかかるという地理的制約がある。

・eラーニング科目等を提供できる基盤がない。

○社会人向け講座

区分	広島県	京都府	石川県
講座内容	・公開講座(22) ・単位互換科目の一部(数科目程度)	・公開講座(約130) ・単位互換科目の一部(約330)	すべての単位互換科目

(本県の課題)・単位互換科目の提供が少なく、社会人への門戸の開放が不十分。

・大学生が社会人とともに学ぶ講座が少ない。

○高大連携事業

区分	広島県	京都府	石川県
県内での取組	・高校生向け講座の実施 ・大学正規授業科目の受講	・模擬講義の実施 ・高大連携教育フォーラム実施	・高校での模擬授業の実施 ・高校の進路指導教員との意見交換等
県外での取組	—	東京、名古屋、大阪で共同イベントを実施	福井県、富山県の高校で大学の模擬授業等を実施

(本県の課題)・県外において連携した取組を行っていない。

・高校との意見交換会等の場の確保が不十分。

【機能別の大学連携の取組】

県内においても、産業界と複数大学の連携による専門分野の人材育成のための取組が進められており、その拡充が必要である。

【先行事例】広島県IT企業人材育成カリキュラム

- ・大学生と社会人がともに学ぶことによる学生の将来の「見える化」と地元定着
- ・カリキュラムの修了に対する認証の付与による当該分野の企業人材のキャリアアップの促進等

【大学連携において取り組むべき課題】

人材育成の充実

(新たな教育プログラムの展開)

■グローバル化に対応できる人材育成プログラムの実施

・大学生、社会人、高校生を対象としたグローバル人材の育成、留学支援

■地域の人材育成需要に対応した教育プログラムの実施

・企業における人材層別の課題に対応する人材育成

・地域社会が抱える人材育成課題に対応する人材育成

・新たな成長分野を担う人材育成

■産業界と連携した就職支援の強化

・キャリア教育の充実

・インターンシップの充実

(教育の提供手法の拡充)

■単位互換科目の社会人への提供等

■共用サテライトキャンパスなど基盤の確保

■大学と高校・産業界の意見交換の場、大学生相互の交流の場

(教育力の向上)

■多様な教育ニーズに対応するため教育力の向上

入学者確保のための情報発信

■県内大学の『魅力』を、効果的に県内外に情報発信

<<大学連携の目指す姿>>

大学連携による「人づくり」を通じた、広島県に人が集まり定着する好循環の形成

大学連携で県内の『人づくり』を推進

県内大学の「魅力」の向上

- 『広島県では、産業界と連携した様々な人材育成講座を受講できる。』
- 『他大学の学生や社会人とともに学ぶことができる。』
- 『在学中だけでなく、就職後も学ぶことができる。』

就職に強い広島県大学

⇒県内外の高校生から選ばれる。

効果的に情報発信

県内大学への人材確保

⇒大学進学時の人材流出に歯止め

社会人とともに学ぶことを通じて、県内企業を知り、将来をイメージ

県内企業への就職促進

⇒大学卒業・就職時の人材流出に歯止め

就職後の企業人材の育成

⇒ライフステージに応じた人材育成カリキュラム

広島県に人が集まり定着

県内に定着した人材が、将来にわたり知識・能力を高めることができる。

3 大学連携推進方策に係る具体的な取組

(1) 人材育成の充実

○新たな教育プログラムの開発・実施

- ・グローバル人材の育成 ⇒ 産業分野におけるグローバル人材育成(大学生・社会人向け) 高大連携による留学支援(大学生・高校生向け)
- ・人材層別の人材育成 ⇒ 実践的な「仕事の方法論」(大学生・社会人向け) リーダーシップやマネジメントスキル(中堅層向け) 経営トップに必要な知識・教養(経営者層向け)
- ・地域に貢献する人材の育成 ⇒ 医療福祉分野、観光分野、国際平和貢献分野など
- ・産学が連携した高度産業人材の育成 ⇒ 医工連携、都市型サービス産業分野、環境・エネルギー関連分野など
- ・キャリア教育の充実 ⇒ 論理的思考力や課題解決力等を身につける講座等の実施
- ・インターンシップの充実 ⇒ 県内企業の情報発信を強化するインターンシップ等の実施

○教育の提供手法の拡充

- ・単位互換科目の社会人への提供や共用サテライトキャンパス等の検討
- ・連携を推進するための場の確保 ⇒ 大学と高校・産業界との意見交換の場、大学生相互等の交流の場

○教育力の向上

- ・教職員研修の充実や国内外の大学等との連携

(2) 情報発信の強化

【県内外共通】・県内大学の魅力に加え、大学連携の新たな魅力等を紹介するパンフレット等の作成・配布

・県HPと県内大学HPのリンク

【県外への取組】・県内大学の魅力を伝える県外の高校生に伝える説明会の開催

・県外高校の進路指導担当教員等を対象とした説明会の開催

【県内への取組】・県内高校への県内大学が連携した取組(連続講義等)の充実

・県内高校の進路指導教員等を対象とした説明会の開催

・県内高校生を対象に自分の生涯設計(キャリアデザイン)を考えるための情報等の提供

(3) 大学連携の推進による成果目標

新たな人材育成プログラムの実施数	[H22] 2件	[H27] 15件
新たに開発・実施する人材育成プログラムの評価	—	「評価する」が6割以上

【参考指標】

大学進学時の転出超過	[H22] 1,843人	[H27] 1,000人以下
------------	--------------	----------------